

青空機械新聞

業界ニュースとトレンド紹介

2025年10月

発行
第23号

節税対策のススメ

今年も残り3ヶ月を切り、今月は12月決算の会社様、個人事業主の方にとって、設備投資による節税対策が出来るラストチャンスの月と言つても過言ではございません。

以前より紹介している、利益の出ている会社様にとって最強の節税対策である『中小企業経営強化税制』を利用する為には、設備納入前に申請・承認を得る必要があり、この一連の手続きには約1ヶ月かかりますので、余裕を考えると今月中には手続きを始める必要がございます。今期想定以上に利益が出そうな方は対策を急がれる事をオススメします。

日本国内受注数字

2025年8月受注額：約318億円

※鍛造・板金機械は含まず。

前月比**10.0%減**、前年同月比**0.9%減**となりました。

8月はお盆の長期連休がある為、機械受注は落ち込む傾向にあり、前月比ではマイナスですが、前年同月比ではほぼ同じ数字になりました。特筆すべき点としては、建機関連で前月比**2.5倍以上**、航空機は前月比ほぼ横ばいですが、今年は継続して高水準で推移しており、前年同月比では**2倍以上**となっており、今年通期でも前年と比べ**+30%以上**となっております。

発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械（あおぞらきかい）

代表者：青木 佑典（あおき ゆうすけ）

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

Email：contact@bsmt.co.jp

2025年8月 米国工作機械受注について

2025年8月米国機械受注額

\$529.4million（約794億円／
\$ 1 = ¥ 150換算）

前月比**36.2%増**、前年同月比
約45%増となりました。

2025年1月から8月までの機械受注総額は34億400万ドル（約5,160億円）となり、前年同期比で**18.3%の増加**となりました。

単月の受注額で\$500millionを超えた月は1998年以降で29回しかなく、約半分が2021年6月以降に記録しております。コロナ渦以降の製造業の強さを示しております。

工作機械業界最大の顧客であるジョブショップ（鉄工所）からの受注が2023年3月以降での最高額を記録しましたが、台数としては平均水準で、複合加工機や自動化装



置付きの設備の割合が多くなっている傾向が強い事を表しており、1台あたりの平均受注額は過去最高額を記録しております。

航空・宇宙関連は前月比で**約20%減**を記録しましたが、2021年1月以降の月平均受注額を**約23%上回る**高水準を維持しており、建機関連は2012年9月以来において受注最高額を記録し、空調設備などの付随設備関連も大幅な伸びを記録しております。

（AMTレポートより）

2025年9月 米国自動車販売台数(新車)

2025年9月米国新車販売台数は前年同月比**6.2%増**の**125万6,366台**でした。

トランプ政権の自動車輸入に追加関税がかかり、各社が本格的に値上げに踏み切ることで、新車販売の伸びが鈍化するとの見通しが指摘されていましたが、市場は堅調でした。10月1日付の米国メディア報道によると、各社が追加関税のコスト増を吸収する努力をした為に大幅な価格改定には至ってい

ない事、9月30日に打ち切られた電気自動車（EV）購入の連邦税額控除が打ち切られたが、9月はそれを前に駆け込み需要があったことが販売を押し上げたと分析しております。

9月初旬の総在庫台数は**276万台**で、前月から**4.8%増加**したものの、前年同月からは**3.9%少ない**水準となっております。

8月末の在庫日数をブランド別にみると、在庫が少なめだったのは、

日系ブランドではスバル38日、レクサス31日、三菱25日、トヨタ22日。欧州ブランドではBMW34日、韓国ブランドでは起亜が27日でした。在庫が多めだったのは、米国ブランドでラム86日、リンカーン70日、ビュイック68日、フォード68日、ジープ65日。日系ブランドではアキュラ72日、欧州ブランドではVWが79日でした。それ以外では米国ブランドのキャデラック58日、日系ブランドのインフィニティ57日、日産48日、マツダ42日、ホンダ40日でした。韓国ブランドではジェネシス51日、現代が48日でした。

米国メーカーの9月販売は、GMが前年同月比**6.0%増**、フォードが**12.5%増**、ステランティスが**17.7%増**と好調でした。GMとフォードはEVの駆け込み需要によるEVの販売が伸び、フォードは第3四半期のEV販売が前年同期比**30%増**となり、四半期ベースとしては過去最高を記録しました。ステランティスは主力ブランドのジープが牽引しました。テスラは**10.1%増**加し、11カ月ぶりの増加となりましたが、同社はEV購入税額控除打ち切りに伴い、10月からのリース価格を引き上げており、今後は販売低迷が続くと予測されています。(マークライズより)

真のオールラウンドプレイヤー キタムラ機械(株)『Mycenter-3020G』

3軸の立形マシニングセンタにおいて、各社が『うちの機械は荒～仕上げまで1台でこなすことができます!!』とPRしておりますが、実際はどうででしょうか？

確かに加工自体は出来るかと思いますが、全ての工程において、効率が上がるとはうたっていないかと思います。

そんな中、実際に荒～仕上げまでの全工程を効率よく行える機械がございます！！

当新聞でも何度も紹介しており、青木が好きなメーカーでもある隣県の富山県が誇るマシニングセンタ専業メーカー『キタムラ機械』。同社を代表する製品の一つである『Mycenter-3020G』。

キサゲ仕上げされたすべり案内、搭載される40番主軸はキタムラオリジナルの4段ギヤ主軸で下は20回転から、Max.20,000まで回すことができます。高回転主軸にも関わらず、最大トルク270N・m超の高剛性主軸もあります。機械価格はミドルクラスに位置しますが、性能・精度はハイエンド機に匹敵するコスパ最強のマシンです。



テーブルサイズ：860 × 500mm

移動量(X/Y/Z)：762/510/510mm

主軸端形状：BT40 (4段ギヤ駆動)

主軸回転数：20～20,000min⁻¹

ご興味のある方は、まずは当社に見積依頼を！！

補助金、その他機械設備に関してご質問等がございましたら、当社までお問合せください。

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

E-mail : aoki@bsmt.co.jp

青空機械

検索



青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満39歳)
2009年 (株)兼松KGK 入社
2010年
↓ 同社新潟営業所勤務
2016年
2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社
2017年
↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向
2020年
2021年 ユアサ商事(株) 入社
↓ 同社新潟支店勤務
2024年
2024年 (株)青空機械 設立

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせてください。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！